

講座・講演

★軽スポーツ用具活用講習会

10月23日(日)9時～11時 所東小学校 因輪投げ、ストラックアウト、スマイルボウリング等の軽スポーツ 費無料 時室内シューズ、飲み物、タオル、着替えなど 因不要 因生涯学習課☎7150-6106

★リサイクルプラザ・プラザ館の講座

①裂き織りランチョンマットづくり

11月7日(月)10時～15時 定20人(多数抽選) 費300円(材料代) 因不用布または古布、ものさし、布切りハサミ、お弁当

②和服地でイージーパンツづくり

11月9日(水)10時～16時 定10人(多数抽選) 費無料 時和服地、裁縫道具、お弁当

③クリスマスリースづくり

11月21日(月)13時～16時 定10人(多数抽選) 費無料 因不用布、布切はさみ、ワイヤーハンガー、ペンチ

④クリスマス&お正月タペストリーづくり

11月18日(金)10時～16時 定10人(多数抽選) 費400円(材料代) 因不用布、裁縫道具、お弁当

【①から④共通事項】

往復ハガキに開催日、講座名、住所、氏名、電話番号、返信用に宛名を明記の上、10月25日(必着)までに、〒270-0174流山市下花輪191リサイクル推進課へ

⑤敷布団づくりを見学しよう!

職人が敷布団づくりの工程をお見せします。

11月16日(水)13時～16時 定25人(先着順) 費無料 因マスク、筆記用具 因電話でリサイクル推進課へ

★ガーデニング講座～ワイヤーバスケット寄せ植え～

春咲き球根と1、2年草の寄せ植えバスケットを作ります。作品はお持ち帰りいただけます。

11月11日(金)13時～15時 所一

茶双樹記念館 定20人(先着順) 費2,500円 因ガーデニングデザイナー・山田哲也さん 因電話、ファクスまたはメール(info@issasoju-leimei.com)で一茶双樹記念館へ

因一茶双樹記念館☎・FAX 7150-5750

★初石公民館パソコン講座(2日間)

1対1で指導します。

11月16日(水)・17日(木)12時～15時 所初石公民館 因パソコンを持参できる方 定10人(先着順) 費2,500円 因電話で初石公民館へ 因初石公民館☎7154-9101

★それって「愛」なの?気づくこと相談すること～DV予防セミナー～

11月19日(土)13時30分～15時30分 所生涯学習センター 因DV防止プログラム ファシリテーター・認定心理士・山中多民子さん 因市民 定70人(先着順) 費無料 因電話または市ホームページ内電子申請※一時保育あり(先着順、11月10日までに要予約)

因企画政策課☎7150-6064

江戸川大学サテライトセンターの講座「雑誌がぼくらの青春だった」(全4回)～懐かしき昭和の若者文化～

11月10日・17日・24日、12月1日の木曜10時30分～12時 所江戸川大学サテライトセンター 費6,000円 因電話、ファクス、メール(stcenter@edogawa-u.ac.jp)で

因同センター☎7156-7715 FAX 7153-9100

会議 (どなたでもお聴きいただけます)

★平成23年度第2回流山市都市計画審議会

10月14日(金)14時30分～16時30分 所市役所 因都市計画道路の変更及び地区計画の決定について 因都市計画課☎7150-6087

その他

★つくってあそぼ手袋人形

手袋人形を作ってわらべうた遊びを楽しみましょう。

10月30日(日)13時30分～15時

所森の図書館 因市民 定20人(先着順) 費400円(材料費) 因10月13日午前9時から電話で森の図書館へ※一時保育あり(先着8人)

因森の図書館☎7152-3200

★マンション管理相談会

マンションの大規模改修や管理費滞納などの様々な問題に、マンション管理士が無料で相談に応じます。

10月22日(土)9時～12時 所初石公民館 因マンション管理組合など 定3組(先着順) 費無料 因10月21日までに電話で建築住宅課へ

因建築住宅課☎7150-6088

★おもちゃ病院を開院

おもちゃドクターが壊れたおもちゃを修理します。親子で一緒に修理体験もできます(当日おもちゃドクターに申し出てください)。

10月22日(土)9時～12時 所リサイクルプラザ・プラザ館 費無料(材料費かかる場合あり) 因不要

因リサイクル推進課☎7157-8250

★第5回小学校ミニバスケットボール大会を開催!

市内全小学校が参加します。ぜひ、ご声援を。

11月2日(水)9時～(開会式、予選リーグ)、5日(土)8時30分～(予選リーグ)、8日(火)8時30分～(決勝トーナメント)14時50分～(閉会式) 所市民総合体育館(5日は小山小学校でも開催)

因指導課☎7150-6105

★男の料理教室(全6回)

11月9日(水)・24日(木)、12月7日(水)・21日(水)、1月11日(水)・24日(水)10時～14時 所南流山センター 因男性

定24人(先着順、初めての方優先) 費5,000円(テキスト、材料代を含む全6回分) 因エプロン、三角巾など 因11月4日までに電話か、南流山センター窓口へ

因南流山センター☎7159-4511

★北部公民館ハートフルコンサート～芸術の秋 オペラへのいざない～

ヴェルディの歌劇「リゴレット」を披露します。

11月13日(日)14時から 所北部公民館 因出演=渡邊真弓さん(ソプラノ)、江崎宏子さん(ピアノ)、金子亮平さん(バリトン) 因チケット=500円(全席自由席)。10月11日より北部公民館で発売開始※未就学児の一時保育あり(無料)、公共交通機関をご利用ください。

因北部公民館☎7153-0567

★東京大学柏キャンパス一般公開2011

各研究施設の公開や研究発表など子供から大人まで楽しめます。

10月21日(金)・22日(土)10時～16時30分 所東京大学柏キャンパス(TX柏の葉キャンパス駅から無料シャトルバスあり)

因東京大学柏地区共通事務センター☎7136-3200

★全国一斉成年後見相談会(千葉司法書士会 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部主催)

司法書士が無料で相談にお応えします。

11月3日(水)10時～15時 所松戸商工会議所 費無料

因同支部・佐藤☎7152-4390

震災で被害を受けた方は「り災証明書」を取得してください

～10月31日までに取得された方を対象に見舞金の支給を検討～

東日本大震災で被害を受けた住家所有者の方(家屋に10万円以上の被災、家財等は除く)で、10月31日までに「り災証明書」を取得した方を対象に、見舞金1万円の支給を検討しています。該当する方には、詳細が決まり次第通知します。

「り災証明書」は現地調査後に発行するため、発行までに数日かかります。期間間近には申請が集中する可能性がありますので、該当する方でまだ「り災証明書」を取得していない方は、お早めに申請してください。

なお、既に「り災証明書」を取得した方は申請する必要はありません。

申請は、安心安全課で受け付けています。申請に必要なものは、被害状況が分かる写真、修繕の見積書(修繕済みの場合は領収書も必要)です。

因安心安全課☎7150-6312

しみの伝言板

【お知らせ】これまでイベントの掲載は1団体につき3か月に一度の掲載としていましたが、掲載団体の要望を受け、平成23年度より主催団体ごとに「1年度に4回以内」の掲載とさせていただきます。なお、サークルの会員募集はこれまでどおり6か月に1回の掲載とします。

因秘書広報課☎7150-6063

イベント

四季の会作品展=10月14日(金)～18日(火)10時～21時(14日は13時から、18日は15時まで)、生涯学習センター。入場料無料因野崎☎7143-0616

花かご絵手紙展=10月20日(水)～27日(水)9時～17時(20日は13時から、27日は16時まで)、生涯学習センター。入場料無料因黒崎☎7155-6720

友禅染作品展(友彩会主催)=10月20日(水)～27日(水)9時～21時(27日は16時まで)、生涯学習センター。入場

料無料因須田☎7153-3228

第3回流山市太極拳のつどい(市教委後援)=10月23日(日)13時～17時、生涯学習センター。入場料無料因下田☎080-5002-8218

いけばな体験=10月24日(月)・25日(火)10時～13時、向小金福祉会館。参加費無料(花代実費)因相馬☎7176-0588

第11回一彩会=10月25日(火)～30日(日)10時～17時(25日は13時から、30日は16時まで)、さわやかちば県民プラザ(柏市)。入場料無料因杉本☎7154-8568

南流山さつき会秋期展=10月29日(土)・30日(日)9時～17時、東部公民館。入場料無料因大町☎7159-2006

さわやかパソコン塾「パソコンで年賀状(文面)作成」=11月1日(火)・6日(日)・15日(火)・27日(日)13時30分～15時30分、さわやかちば県民プラザ(柏市)。参加費各回1,000円※各回とも同内容、要申込因SPV(エスピーヴイ)☎090-1836-5869

流山市文化祭参加俳句大会及び第9回青少年俳句大会表彰式(流山俳句協会主催)=11月6日(日)12時30分～17時、生涯学習センター。参加費1,000円(賞品あり)※当季雑詠3句因小野☎7159-5503

流山市合唱連盟15周年記念第9演奏会(市教委後援)=12月25日(日)14時～16時、文化会館。入場料2,000円※チケット販売場所は問い合わせを因中村☎7154-0238

平成23年度流山市青少年主張大会

北部中の野口瑞希さんに栄冠 県大会で優秀賞

9月14日、文化会館で開催された「流山市青少年主張大会」に市内中高生10名が参加し、北部中の野口瑞希さんが最優秀賞を受賞しました。野口さんは、「明日を語る」をテーマに、福島から避難してきたクラスメートに出会い、震災について考えたことについて語りました。

その後9月25日、千葉市文化センターで開催された「私の思い～中学生の主張～」(県大会)に流山の代表として出場し、優秀賞にも輝きました。

因生涯学習課☎7150-6106





市内で行われたイベントや話題の情報など、幅広くピックアップ！旬の出来事をお届けします。



おとなりさん Vol.53

「Nコン」課題曲の作曲を担当

美しい日本の詩に美しいメロディーを上田真樹さん（鱒ヶ崎）

今月8日から10日までNHKホールで行われた「第78回NHK全国学校音楽コンクール」。

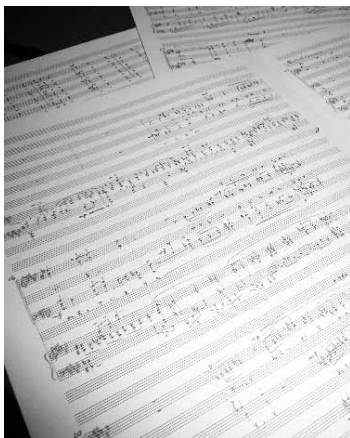
このコンクールは、小・中学校や高校で合唱を学ぶ児童・生徒にとって、あこがれの舞台だ。上田真樹さんは、高校生用の課題曲『僕が守る』の作曲を担当。

母親の勧めで5歳のころよりピアノを始め、幼稚園で聴いてきた曲を譜面も見ずに家で弾けたという真樹さん。「そんな人たくさんいます」と謙遜するが、やはり天賦の才か。

父親が転勤族だったため、小さい頃より日本各地を家族で転々と。平成5年に流山市に居を構え、真樹さんは学生時代を過ごした。

東洋人である自分が西洋人、しかも100年以上前の西洋の作曲家と同じようなスタイルで曲を作ることに意義があるのか、と悩んだという真樹さんは、「美しい日本の詩に曲を付けて音楽で表現していきたい」と作曲家としての自分の居場所を語った。

子どもの頃は引っ越してばかりだったので、「故郷は？」と聞かれれば一番長く住んだ「流山」と答えているという。「今後は流山の音楽団体とも関わりが持てたらいいですね」と、最後に素敵な笑顔とうれしい言葉が待っていた。



上田さん直筆の手書き譜面

市内最高齢者を井崎市長が訪問

森千代吉さんは2年連続で県内男性最高齢者に

敬老の日の9月19日、井崎市長が市内の最高齢者をお祝いしました。

男性の最高齢者は、昨年に続き2年連続で県内の男性最高齢者にもなった、森千代吉さんです。

当日は、井崎市長が入院されている柏市内の病院に伺い市内最高齢の長寿をお祝いする賞状と花束をお渡しし、「ご長寿おめでとうございます。お身体に気を付けて、もっと長生きしてください」とお祝いしました。

一方、女性の市内最高齢者となった村尾八重さんは、明治39年3月14日生れの105歳で、現在、前ヶ崎の介護老人保健施設ナーシングプラザ流山に入所されています。



ひ孫の倉持慶丸君（小山小4年）もお祝いに

ありがとうございます」とお礼を述べられ、一段と大きな拍手が会場を包み込みました。

市内で今年9月1日現在、100歳以上の方は男性が6人、女性が42人いらっしゃり、昨年に比べ6人増えました。



市長から花束を手渡される村尾さん

流山流

ながれやますたいる

森のマルシェ会場でインフィオラータづくり 2千本のバラの花びらで3メートルの花絵を

9月17日、流山おおたかの森駅前で「森のマルシェ」の会場で、バラの花びらで描くインフィオラータ（巨大花絵）づくりが行われ、朝から集まった親子連れなど13人が参加しました。

今回制作したインフィオラータの原画は、ミュージシャン・白井貴子さんがデザインしたもので、中央のスマイルマークの周りをハートが囲んでいます。インフィオラータの直径は3メートル、用意されたバラは白、赤、ピンク、黄、オレンジの5色で合計約2千本です。

参加者は、下絵に合わせてバラの花びらを、約1時間半かけて丁寧に張り付けていきました。近くのマンションにお住まいで、お父さんお母さんと3人で参加された小山小2年の渡辺裕賀ちゃんは、「花をほぐすのが大変だった。たくさんの人に見ていただきたい。そして絵柄のようにみんな笑顔になってくれたらうれしいです」と満面の笑みで話してくれました。



3日間展示され多くの方が笑顔に

聞き書き 流山本町界隈 7 赤城の杜に響く祭囃子 青木更吉

10月16日は赤城神社の本祭り。宵宮から神社の杜には祭囃子が響く。この祭囃子に郷愁を誘われるのは私だけではないだろう。懐かしいリズムで、心はふるさとへ戻される。赤城保存会の玉ノ井勇夫さん（82歳）は祭り好き、祭囃子の演奏に一日じゅう身をまかせると、「入れ歯だから笛はだめ」と笑わせるが、ひよつとこを踊らせたならこの人の右に出る者はいない。火男（口をとがらせ火をおこす男）が、ひよつとこ。顔の表情だけでも笑いを誘い、玉ノ井さんが踊ると、ひよつとこは生きてくる。腰を落として、扇子を持った手の動き、足の運びが見物衆の目を引きつける。

キツネとひよつとこの滑稽な踊りが物語になっている。「キツネの種まき」。ひよつとこはキツネが蒔いた種を食べてしまう。餅つきでもこねるのに食べてしまつて、キツネに叱られる。キツネとひよつとこのやり取りは、パントマイムだが、おどけた仕草に観衆は笑い転げる。お囃子は最低でも大洞一、しめ太鼓二、笛一、鉦一、のいわゆる五人囃子。赤城保存会の面々は芸達者ぞろい、気も合っている。山車が街へ繰り出すと、狭い舞台で五人囃子が並び、ひよつとこが踊る場所もないが、踊りは窮屈な所でもそれを感じさせない。



祭囃子（切り絵／飯田信義氏）